

アメリカ教育学会 第25回大会プログラム

会期：2013年9月28日(土)

会場：上智大学 四谷キャンパス

The 25th Annual Conference of Japan Association of American Educational Studies

アメリカ教育学会 第25回大会準備委員会

Tel: 03-3238-4366 (澤田研究室直通)

Email: jaaes20130928@gmail.com

◇ 交通のご案内 ◇

四谷キャンパス 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

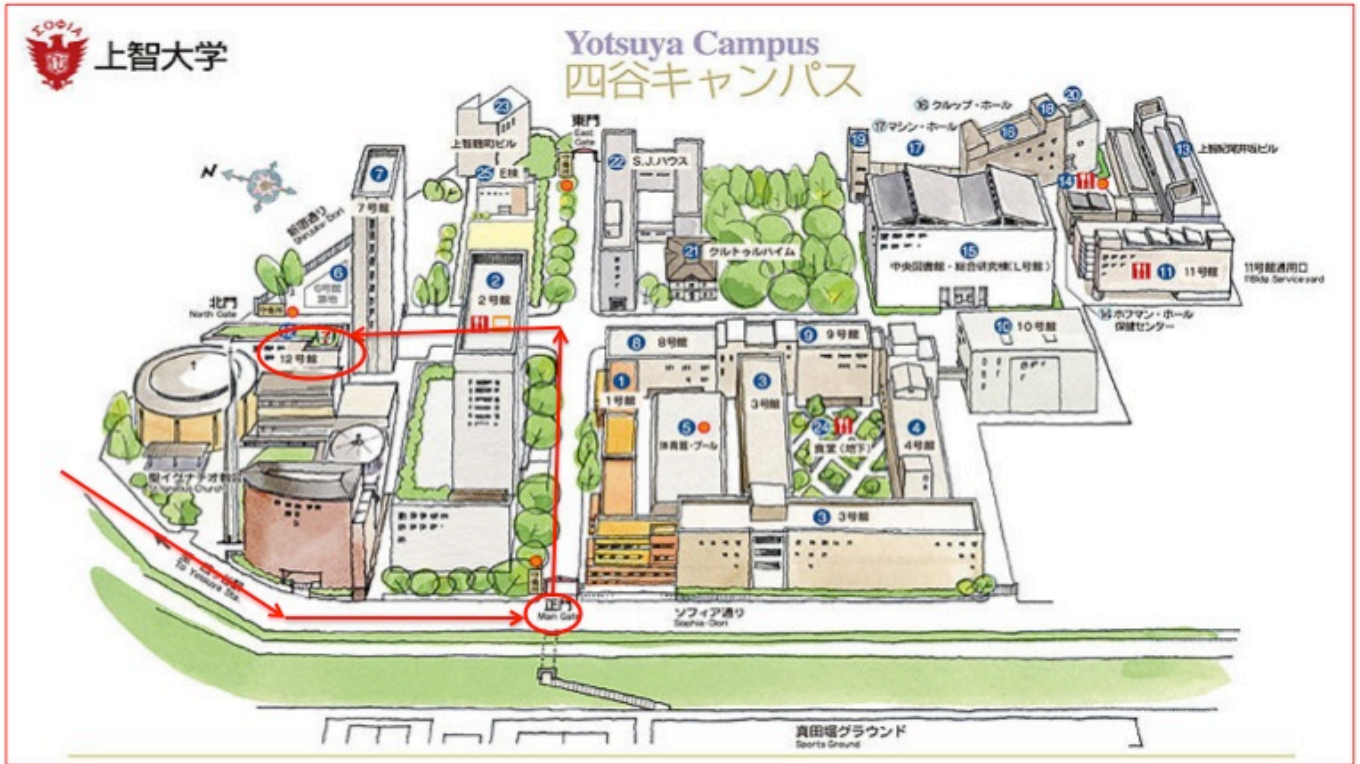
JR 中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線/四ッ谷駅 麹町口・赤坂口から徒歩5分

※ 大会当日は、新宿通りに面した北門は閉鎖されています。正門を御利用下さい。

※ キャンパス内には駐車場がありません。

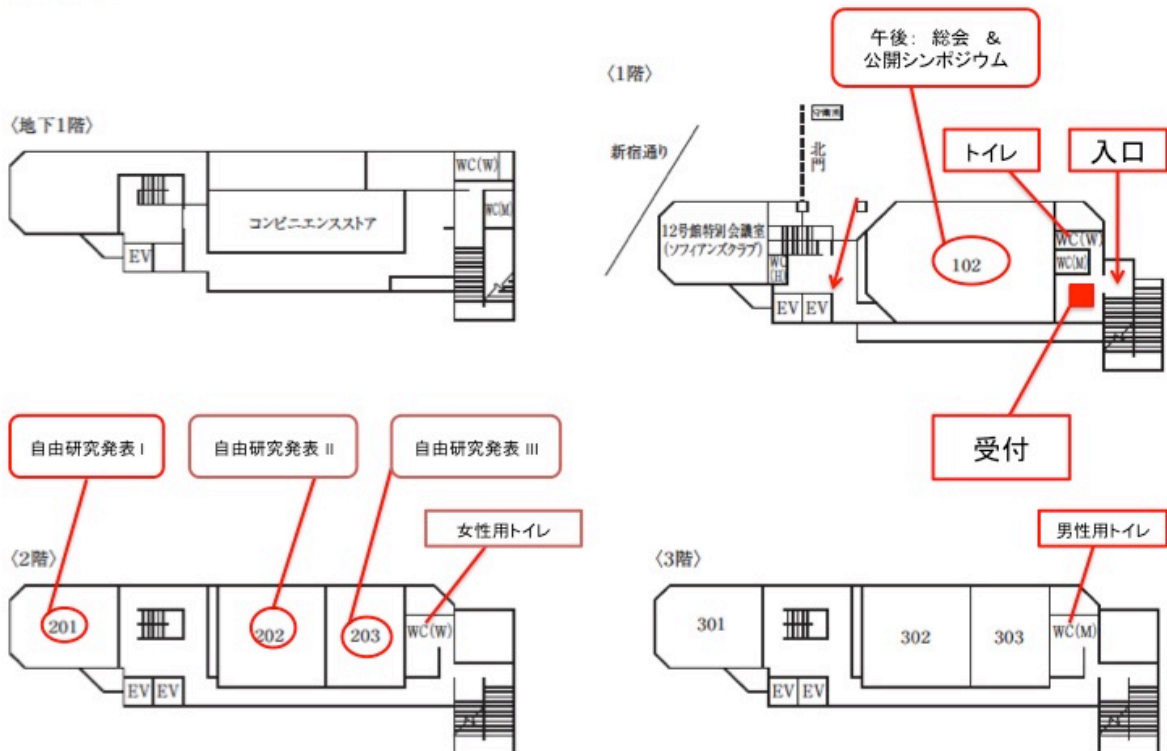


◇ 大会会場建物案内図 ◇



- [1]大会当日は、新宿通りに面した北門は閉鎖されています。必ず、正門を御利用下さい。
- [2]守衛所にお立ち寄り頂く必要はございません。
- [3]受付は12号館1階です。
- [4]キャンパス内は禁煙です。喫煙は指定された場所をお願い致します。

12号館



※ 2Fへの移動にはエレベーターの使用が可能です。設置場所は、上記[EV]の表示箇所をご覧ください。

◇ 大会日程・大会参加要領 ◇

時 間	備 考
9:30~	大会受付 (12号館1階)
10:00~12:10	自由研究発表Ⅰ (12-201教室)
10:00~12:00	自由研究発表Ⅱ (12-202教室)
10:00~12:10	自由研究発表Ⅲ (12-203教室)
12:10~13:10	昼食休憩 (シンポジウム関係者の打ち合わせ 12-102教室)
13:20~14:20	総会 (12-102教室)
14:30~17:15	公開シンポジウム (12-102教室)
17:30~19:30	情報交換会 (2号館5階 教職員食堂)

1. 受付

9月28日(土) 9:30から12号館1階(入口)にて行います。

2. 学会費

会員で会費未納の方は、必ず年会費(正会員 5,000円、学生会員 4,000円)を納めてください。大会当日も納入可能です。その場で入会ご希望の方は、入会金(1,000円)を添えて申し込んでください。

3. 大会参加費(『発表要旨集録』代を含む)

○正会員: 3,000円、学生会員: 2,000円、臨時会員: 3,000円、

○情報交換会費: 5,000円

※会員相互の親睦を深めるため、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

※事前にメールでお申し込み頂いた方のみご参加頂けます(下記)。

4. 事前メール受付のお願い

大会及び情報交換会申込参加の出欠について、下記の要領にて、Eメールにてお知らせ下さい。

自由研究発表・公開シンポジウムへのオーディエンスとしてのご参加は、当日申込でも可能ですが、**情報交換会(懇親会)へのご参加は、事前申込のみ参加可**とさせていただきます。ご予約の急な変更があった場合には、速やかに下記アドレスまでご連絡下さい。

○申込メール送信〆切: 2013年9月14日(土)

○送信先アドレス: アメリカ教育学会第25回大会準備委員会 jaaes20130928@gmail.com

○メール件名: 大会出欠確認

○メール本文記入要領: 挨拶文不要

1行目 お名前 ご所属

2行目 大会出席 または 大会欠席

3行目 情報交換会出席 または 情報交換会欠席

5. 昼食

弁当の販売はいたしませんので、12号館地下のコンビニ、または学外の飲食店等を御利用下さい。四ツ谷駅ビル内、及び周辺にも飲食店があります。

6. 理事会の開催

前日の9月27日(金) 16:30~18:30の日程で開催します。場所に関しては、追ってご連絡差し上げます。理事の皆さまには別途、学会事務局よりご案内します。

◇ 自由研究発表 ◇

- 発表時間 発表 20 分・質疑 5 分（計 25 分）
- 各会場とも、個別の発表・質疑の終了後に、全体討議の時間を設けます。
- 発表に必要な資料は、各自 30 部ご用意いただき、大会当日ご持参ください。会場ではコピーできませんので、ご了承ください。
- パソコンをご利用の場合には、原則各自でお持ち下さい。自由研究発表の会場教室には、プロジェクタではなく、天上吊り下げ型テレビモニタ（パソコン接続可）が完備されています。
- 会場には学外者が利用できるインターネット設備はありません。ご了承ください。

◇ 自由研究発表 I

9 月 28 日（土）10:00～12:10 12 号館201 教室

【司会】松下晴彦（名古屋大学） 浅沼茂（東京学芸大学）

- ・ 10:00～10:05 開会
- ・ 10:05～10:30
ジョン・バーレル（John Barell）の問題に基づいた学習理論（PBL）についての研究
山田泰弘（愛知教育大学大学院）
- ・ 10:30～10:55
ハワード・ガードナーによる「専門家」の倫理的責任
久須美雄哉（愛知教育大学大学院）
- ・ 10:55～11:20
メリーランド州モンゴメリ郡の「初等統合カリキュラム」（Curriculum 2.0）の魅力と課題
佐藤有（北海道教育大学岩見沢校）
- ・ 11:20～11:45
エンゲルハートの学校建築思想—工場モデルから家庭モデルへ—
宮本健市郎（関西学院大学）
- ・ 11:45～12:10 全体討議・総括

◇ 自由研究発表 II

9 月 28 日（土）10:00～12:00 12 号館202 教室

【司会】八尾坂修（九州大学） 穂坂明德（日本赤十字秋田看護大学）

- ・ 10:00～10:05 開会
- ・ 10:05～10:30
モンゴルにおけるアメリカ教育の影響
井場麻美（東北大学大学院）
- ・ 10:30～10:55
オンラインによる職能開発の可能性—モンタナ州立大学の基礎研究を中心に—
安藤輝次（関西大学）
- ・ 10:55～11:20
教員評価制度をめぐる教員組合の対応—ニューヨーク市に注目して—
末藤美津子（東洋学園大学）
- ・ 11:20～12:00 全体討議・総括

◇ 自由研究発表 III

9月28日(土) 10:00~12:10 12号館203 教室

【司会】 矢野裕俊 (武庫川女子大学) 大倉健太郎 (大阪女子短期大学)

- ・ 10:00~10:05 開会
- ・ 10:05~10:30
共通コア州スタンダード(Common Core States Standards)が教育実践に及ぼす影響の一考察
—ニューヨーク市セントラルパークイースト第二小学校の事例を中心に—
新谷龍太郎 (南大阪看護専門学校非常勤)
- ・ 10:30~10:55
多重知能と自己効力からみた SSH 事業の評価—岡山理科大学附属高校の実践から—
高橋和成 (岡山理科大学附属高校)
- ・ 10:55~11:20
カリフォルニア州における薬物防止教育の取組
—オルタナティブ学校と Community based Organization の連携—
宮古紀宏 (早稲田大学)
- ・ 11:20~11:45
日本の『いじめ防止対策推進法』とアメリカの『いじめ対策法』について
福井龍太 (茨城県立医療大学)
- ・ 11:45~12:10 全体討議・総括

◇ 公開シンポジウム ◇

2013年9月28日（土）14:30-17:15 上智大学四ツ谷キャンパス12号館

アメリカにおける進歩主義教育実践の現在 —NCLB体制を超えて—

3年前に行った第22回大会（芝浦工業大学）で、『A Blueprint for Reform』を中心にしてオバマ政権の教育政策について検討した。2002年、ブッシュ政権のもとで成立したNCLB法は全州にテスト体制を拡大し、学校現場では、テストの成績の向上のみを目指した、しかも、「mid kids」に焦点を当てた「Teach to Test」と言われる指導体制が強まって行った。”Change”を標榜した民主党政権であるオバマ政権はこうしたNCLB法に基づくアカウンタビリティ体制を改善するのではないかと期待された。

しかし、第二次オバマ政権になっても、教育長官が変わらないことに象徴されるように、アカウンタビリティ体制に民主党らしい変化を期待することは難しい。むしろ、より厳密な教育スタンダードに基づくAYPへの固執と廃校処分を含んだ学校改革計画は厳格化され、学校のアカウンタビリティはより一層強化されつつある、と言える。

本年3月にこうした厳しいアカウンタビリティ体制のもとにあつて、ニュージャージー州アトランタ市の教育長と34人の教師がテスト結果の改ざんで訴えられるという事件が発生している。アカウンタビリティの名目のもとで、事態は深刻化していると考えられる。

2期目のオバマ政権でも、強化されるアカウンタビリティ体制のもとにあつて、今後の教育についてどう考えるべきか、このシンポジウムで考えたい。競争がますます激化するグローバル世界にあつて、教育はどうあるべきか、と大きくも考えたい。

（文責：加藤幸次）

シンポジスト

1. NCLBとテストの現在 浅沼 茂（東京学芸大学）
2. 才能教育の現在 松村 暢隆（関西大学）
3. デモクラティック・スクールの現在 澤田 稔（上智大学）

コーディネーター・司会：加藤 幸次（上智大学名誉教授、本学会代表理事）

アメリカ教育学会 第25回大会プログラム

2013年9月9日発行

発行者 アメリカ教育学会 第25回大会準備委員会
〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1

上智大学 総合人間科学部 澤田研究室内
澤田稔（上智大学）・佐野亮子（東京学芸大学非常勤）